

備前市事務事業評価表

事務事業名	備前斎場維持管理事業	コード	01-01-16-01
		担当課・係	環境課・衛生係
		担当者	馬場 敬士
		電話	64-1821
事業実施期間	昭和46年度～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	火葬場・墓地	

事業について	
目的 (何のために)	葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。
対象 (誰・何を対象に)	祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民 斎場を利用する市外の利用者
内容	適正に火葬を執行するために斎場・霊柩車等の維持管理を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
火葬執行数	345 件	341 件	
祭壇業務数	51 件	33 件	
霊柩車運行数	11 件	12 件	
火葬執行日数	215 日	218 日	
改修工事費	16,989 千円	9,240 千円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	32,794	国庫補助金等	直接事業費	18,112	国庫補助金等	直接事業費	0
	人件費	15,263	委託費負担	人件費	14,195	委託費負担	人件費	0
	合計	48,057	市債 一般財源等	合計	32,307	市債 一般財源等	合計	27,288

必要人員	2.65 人	2.45 人
結果指標名	火葬執行数	火葬執行数
結果指標量	345	341
単位	件	件
対前年比	—	98.84%
活動にかかるコスト	45,622,000 円	36,653,000 円
単位当たりコスト	132,238 円	107,487 円
結果指標名	祭壇業務数	祭壇業務数
結果指標量	51	33
単位	件	件
対前年比	—	64.71%
活動にかかるコスト	2,435,000 円	2,340,000 円
単位当たりコスト	47,745 円	70,909 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	火葬執行については、死亡者の数により増減するため件数だけで判断するのは難しいが、施設利用者がいる限り継続していく必要がある。		
成果指標名	備前斎場稼働率	式又は説明	火葬執行日数 / 開館日数 (休館日：友引、1/1～1/3)
	17年度	18年度	
成果指標量	0.71	0.73	
対前年比	—	102.41%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： <input type="checkbox"/>
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
市民参画度		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 申請により、適正な火葬執行を行う。祭壇業務は、減少傾向にある。
----------	---	---	---------------------------------------

目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため徐々に業務を縮小して行く必要がある。備前斎場と日生斎場とで、使用料が異なるため統一する必要がある。	評価区分 <A～E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	祭壇業務の見直しについての検討	H18～	人員配置の改善
効率性	使用料の見直し	H20年度	備前斎場と日生斎場の使用料を統一し、地域間格差をなくす。